

記載例(駐車場・資材置き場)

①

事業計画書(共通)

1 農地転用を必要とする事業を行う理由

駐車場：従業員数増員のための従業員駐車場及び来客用駐車場を拡大するため。

資材置場：事業拡張により既存資材置場が手狭なため。

2 農地を適地として選定した理由

会社の隣接地である申請農地が適地である。

3 転用事業費内訳

用地取得・借上経費	2,000,000円
造成・整地経費	300,000円
施設・建物建設経費	0円
設計費	100,000円
測量・登記経費	300,000円
搬入費等諸経費	200,000円
合 計	2,900,000円

4 資金計画

自己資金	500,000円
借入資金	2,400,000円(〇〇銀行)
補助金	
合 計	2,900,000円

5 過去の転用事業の(有・無)

(有る場合)

転用事業(完了・未完了) 未完了の場合はその理由と今後の計画

6 転用事業の妨げとなる権利者の(有・無)

(有る場合)

権利者名	権利内容	同意状況
------	------	------

7 転用事業に関連する他法令の(有・無)

(有る場合)

該当法令名	手続状況・予定	進行見込み
-------	---------	-------

②

8 一体として利用する農地以外の土地の（有・無） ※道水路を含む。

（有る場合）

土地の所在	地番	現況地目	面積	所有者	同意・調整状況
湯沢市佐竹町	1-1	宅地	50 m ²	湯沢市	確認済、後日同意書

9 造成・盛土の（有・無）

（有る場合）

盛土高	1.0 m	土量	200 m ³
-----	-------	----	--------------------

10 河川等から取水の（有・無）

（有る場合）

必要性

取水方法

取水量	m ³
-----	----------------

11 上水道引き込みの（有・無）

（有る場合）

本管等の位置と引き込み方法

12 排水の（有・無）

（有る場合）

別様式「被害防除計画書」添付

【許可後1年以内に完了できない場合】

工程（暦に対応したものでなく許可日から起算したものでもよい。）

【一時転用の場合】

別様式「農地復元計画書」添付

工程（着工から農地復元まで。暦に対応したものではなく許可日から起算したものでもよい。）

【転用後に施設を貸し付けする場合】

貸し付け施設名	借り受け者名	契約予定内容（金額、期間等）
---------	--------	----------------

事業計画書（資材置場・駐車場）

※他に事業計画書（共通）を添付する。

1 事業者の説明（現在の事業内容、事業歴概要）

駐車場：従業員数50人、精密機械部品製造業

資材置場：1.〇〇〇の製造販売

2.△△△の製造販売

3.□□□の製造販売

2 現在の資材置場・駐車場の位置、面積及び利用状況（資材等の種類、数量）

駐車場：従業員、来客用駐車場 約100台

資材置場：敷地東側にある会社裏一角（22.0㎡）を資材置場として使用

〇〇〇資材 10,000個

3 新たに資材置場・駐車場を必要とする理由

駐車場：従業員数増員のため駐車場が不足している。

会社の隣接地である申請農地が適地であり必要性を理解していただきたい。

資材置場：事業拡大による資材の増加及び経費削減のために長期的に使用する資材を一括発注することにより、発注回数を減少させ発注費用を削減する。

4 資材等の種類及び数量

駐車場：従業員、来客用駐車場 約50台

資材置場：〇〇〇資材 30,000個、〇〇〇資材 50,000個

5 事業所から申請地までの距離

隣接地

6 道路又は駐車場を付設する場合はその概要と面積

駐車場より乗り入れとして幅6.0m、延長10.00mの進入路を設置する

【第2種農地の場合】

場所選定経過

被害防除計画書

1 用地造成に伴う被害防除措置

- ・ 土留め工事をする
- ・ 用壁を設ける
- ・ 法面保護をする
- ・ 緩衝地を設ける
- ・ その他

雨水が流入しないようL型擁壁を設置する。

※ 周囲の農地、人家、道水路等への土砂の流出、堆積等を生じさせないための対策について、該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。

被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

2 排水計画

(1) 汚水（屎尿、工場排水等）

- ・ 合併浄化槽
- ・ 浄化槽
- ・ 公共下水道
- ・ 汲み取り
- ・ その他

(2) 生活雑排水

- ・ 合併浄化槽
- ・ 溜舥
- ・ 公共下水道
- ・ その他

(3) 雨水排水

- ・ 溜舥
- ・ 貯水池
- ・ 水路放流
- ・ 自然流下
- ・ その他

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。

被害防除計画等においてその位置・経路を示すこと。

3 隣接地への資材崩れ、近隣農地の日照・通風・通作及びその他の支障を与えないための被害防除措置

- ・ 防護柵を設ける
- ・ 緩衝地、緑地を設ける
- ・ 施設・建物の高さを加減する
- ・ その他

緩衝帯を設け、日照・通風・通作に影響が生じないように配慮する。

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。

被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

融 資 証 明 書

年 月 日

(借入申込者)

住所

氏名

様

(証明者)

住所

氏名

弊社は、貴方から土地購入及び施設建設資金として（借入申込を受けており・借入申込みがあれば）、
農地転用について秋田県知事の許可があり次第、次のとおり貸付する用意があることを証明します。

1 貸付予定金額

2 貸付対象事業

※ 証明者に独自の様式がある場合は、その様式で差し支えないものとします。